

## 令和2年度 事業報告

(敬称略)

令和2年度は、前年度末から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初から7月初旬にかけて演奏活動を中止せざるを得ませんでした。この間仙台フィルでは、感染症拡大防止の観点から、3月には東日本大震災追悼メッセージ動画を、5月には音楽配信「音楽で振り返る懐かしの仙台フィル」、6月には音楽配信「仙台フィル Wave Symphony on YouTube」などの配信を行い、多くの反響をいただきました。

これらの配信は、少人数であっても楽団員が参集して収録することによる感染リスクを避け、予防対策を徹底することにより医療機関への負担をかけないことが重要であるとの全楽団員の共通認識のもとで行いました。

7月からの公演再開にあたっては、国、県・市及びクラシック音楽公演運営推進協議会作成のガイドライン(以下「ガイドライン」という。)に則って感染症予防対策を徹底し、多くのお客様のご協力のもとで公演を継続しております。

仙台フィルでは、今後も徹底した感染症予防対策を継続しつつ、多くの方に感動をお届けすることを目的に活動を継続していきたいと思っております。

### 1. 楽団経営健全化への取り組み

令和2年度は「経営健全化に向けた新たな取り組み」の3年目でした。

引き続き「適正な編成規模への見直し」により累積赤字を解消し、経営の健全化を図ることを大きな柱としてきました。

退職者不補充により、パート毎に定めた適正な人数を令和9年度(2027年度)には達成(楽団員66名体制)することを目標としており、着実に取り組みを進めています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの演奏会が中止となったことから、文化庁の補正予算事業である「子供のための文化芸術体験会の創出事業」への積極的なアプローチを行い、この事業について13校21公演を新規に獲得するなど、損失した出演料収入の回復にも取り組みました。

新型コロナウイルス感染症による影響は、今後もしばらく継続するものと思われまます。既存の演奏会に頼らず、新規開拓を図ることにより出演料収入を確保できるよう進めなくてはなりません。

### 2. 交響管弦楽等の演奏

(1) 定期演奏会(7回(9日):9公演 ※中止2回(4日):4公演)

令和2年度は、常任指揮者飯守泰次郎のもと、ベートーヴェン生誕250周年の記念に際し、ベートーヴェンの交響曲・協奏曲を柱としたコンセプトで構成し

ました。また令和3年は武満徹没後25年という節目に当たるため、1月～3月の各定期演奏会には武満作品をピックアップしました。

第336回と第337回定期演奏会は、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で中止せざるを得ませんでした。

第338回定期演奏会（7月24日、25日）では新型コロナウイルス感染症の影響でヤデル・ビニャミーニ（カナダ在住）が来日することが出来ず、指揮者を高関健に変更して開催いたしました。再開にあたっては、全世界で医療従事者への感謝を表す活動として展開されている「MAKE IT BLUE」に公式参加をし、各放送メディアで取り上げていただいた他、公式YouTubeチャンネルを通じてドキュメンタリー動画の発信を行いました。同公演ではガイドラインに則って舞台上の密集を避けるため、演奏人数を減員して奏者間の間隔をあけつつ、前半のベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番（ピアノ：津田裕也）はそのままに、後半は曲目をドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界から」に変更してお届けいたしました。4ヶ月ぶりの定期演奏会の再開にあたり、公演の冒頭では当楽団会長である郡和子仙台市長がスピーチを行いました。

第339回定期演奏会（9月18日、19日）は、当初ベートーヴェンの大作「ミサ・ソレムニス」を16年ぶりに演奏する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で合唱の練習が不可能であったため断念せざるを得ず、曲目を変更し、第336回定期演奏会で予定していた交響曲第7番と第337回定期演奏会で予定していたピアノ協奏曲第4番（ピアノ：野平一郎）を組み合わせ、オール・ベートーヴェン・プログラムに再構成してお届けしました。

第340回定期演奏会（10月10日）は、会場を仙台銀行ホールイズミティ21・大ホールに移しての公演ということで、当初編成の大きいマーラー：交響曲第1番「巨人」を計画していましたが、ガイドラインに則って編成を減らし、後半をショスタコーヴィチ：バレエ組曲第1番、交響曲第1番に変更しました。前半は当初の予定通り令和元年の第7回仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門第3位入賞の友滝真由を迎え、バルトーク：ヴァイオリン協奏曲第2番をお届けし大いに会場を沸かせました。

第341回定期演奏会（11月14日）は、指揮：パスカル・ヴェロ（フランス）、ヴァイオリン：リチャード・リン（アメリカ）の両名が新型コロナウイルス感染症の影響で来日出来ないことから、指揮を梅田俊明（元仙台フィル常任指揮者）、独奏を竹澤恭子（ヴァイオリン）に変更して開催いたしました。前半のメンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲はそのままに、後半の曲目についてはガイドラインに則って編成を縮小するため、シベリウス交響曲第1番に変更してお届けいたしました。

第342回定期演奏会（1月23日）以降は、ガイドラインが改定されたことにより、曲目を変更することなく実施することが出来ました。仙台フィルでは、

令和2年度のテーマ作曲家としてベートーヴェンと武満徹を掲げており、第342回、第343回、第344回定期演奏会において、没後25年となる武満徹の作品を計画しておりました。武満作品に続き、牛田智大（ピアノ）をソリストに迎えたショパン：ピアノ協奏曲第1番と吹奏楽で広く親しまれているラヴェル：「ダフニスとクロエ」組曲第2番をお届けし、多くのお客様にお楽しみいただきました。

第343回定期演奏会（2月13日）は、常任指揮者飯守泰次郎のもと、ベートーヴェンの後に続く新企画「チャイコフスキー」の第1回目として交響曲第6番をお届けいたしました。

第344回定期演奏会（3月20日）は、指揮者に日本指揮界を代表する巨匠、尾高忠明を迎え、1月定期演奏会より取り組んでいる没後25年の武満徹の代表作「系図」―若い人たちのための音楽詩を取り上げました。ナレーターに石巻出身の高平響を迎え、震災10年目の節目の時期に「家族の絆」をテーマに置いた曲目を取り上げることで、多くのお客様の共感を得ました。演奏会に先立ち、武満徹のご息女である武満眞樹によるプレトークも行い、作品に対する解釈を深めました。また、仙台フィルでは演奏の機会が少ないエルガーの交響曲第1番を、大英帝国勲章を受章している尾高忠明氏の薫陶を受けながら演奏し、高い評価を得ました。

## （2）特別演奏会（6回：6公演 ※中止4回：5公演）

4月に開催を予定していた未就学児童を対象としたオーケストラ体験型公演「オーケストラと遊んじゃおう」、ベートーヴェン・イヤー生誕250年特別企画「ライナー・キュッヒル ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲に挑む」、5月に開催を予定していた「日本のオーケストラ音楽」展、12月に収録により開催を予定していた「もりのみやこふれあいコンサート」は、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら中止となりました。

7月18日には、東北の2つのオーケストラの「音楽による絆」を全国に向けて発信することを目的に、平成26年7月以来6年ぶりとなる山形交響楽団との合同演奏会「東北 UNITED 山形交響楽団×仙台フィル 合同演奏会」を東京エレクトロンホール宮城にて開催いたしました。当初80名ほどの大編成によるブルックナー交響曲第8番を予定しておりましたが、ガイドラインに則って公演曲目を大幅に変更することとしました。全体の構成を金管セクションによるファンファーレ、弦楽合同合奏、合同オーケストラによる三部形式に再編成し、それぞれに「祈り」「未来」「希望」をテーマとして山形市、仙台市で公演を行いました。

8月25日に岩沼市民会館で開催した「マイタウンコンサート」では、現在札幌交響楽団の指揮者を務め、期待の若手としてめきめきと頭角を現している松

本宗利音をはじめて指揮台に迎え、平成30年の日本音楽コンクールピアノ部門優勝者の小井土文哉と共にグリーグ：ピアノ協奏曲、ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」をお届けしました。

12月19日毎年恒例であったベートーヴェン「第九」演奏会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、春以降合唱団を結成することが出来ず、やむなく内容を大幅に変更して開催することにいたしました。前半は若手実力派の郷古廉をソリストに迎え4月に開催出来なかったベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲を、後半には生涯にわたってベートーヴェンを仰ぎつづけたワーグナーのオペラ前奏曲2曲を演奏し、令和2年を盛大に締めくくりました。この公演は飯守泰次郎が急病のため、令和3年9月の第348回に初登壇する予定であったカーチュン・ウォンが見事に代役を果たし、鮮烈な仙台フィル・デビューを飾りました。

1月には恒例のニューイヤーコンサートを福島市といわき市で開催いたしました。若手実力派太田弦を指揮台に迎え、オーボエ首席西沢澄博をソリストにモーツァルト：オーボエ協奏曲とベートーヴェン：交響曲第7番という名曲プログラムにより新しい年をスタートさせました。

2月28日には世界を股に掛ける指揮者、山田和樹とのシリーズ演奏会「山田和樹×仙台フィル Vol.7 ノスタルジア」をイズミティ21で開催し、ソリストにピアノの萩原麻未を迎え、望郷の想いを伝えるロシアの名作2曲、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番とチャイコフスキー：交響曲第4番を演奏し多くのお客様にお楽しみいただきました。

### (3) 依頼演奏会（60公演（新規34公演を含む） ※中止41公演）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの公演が延期或いは中止となりました。そうした中で、8月30日には仙台フィルとしては、初めての試みとなる無観客による同時映像配信およびアーカイブ映像配信が行われました。アーカイブ配信はのべ3万人の視聴数を数え、想定以上の成果をあげることが出来ました。9月22日には野外コンサートとして仙台市野草園主催の萩まつりコンサートが行われました。来場者は感染症予防対策のため間隔を空けての鑑賞となりましたが、イベントの中止が相次ぐなか、多くの親子連れにオーケストラ演奏を楽しんでいただきました。

10月4日には、中止となった仙台クラシックフェスティバルに代わる公演として「クラシック・エール仙台」が開催されました。生誕250年のベートーヴェンをテーマとして、ロマンス第2番（大江馨）、ピアノ協奏曲第5番「皇帝」（上原彩子）、ヴァイオリン協奏曲（川久保賜紀）を演奏しました。プログラムの一部は10月31日ミヤギテレビのドキュメンタリー番組「杜の都に響いた15年目のハーモニー」で放送されました。

1月30日の「日本演奏連盟新進演奏家育成プロジェクト・オーケストラシリーズ」では、オーディションで選ばれた4名のソリスト（打楽器、ピアノ2名、ヴァイオリン）と協奏曲で共演し、新人の育成に大いに貢献しました。

3月7日には、東日本大震災後、2012年3月より継続している「みんなでつくる復興コンサート」（主催：TBS ラジオ、tbc 東北放送、河北新報社 特別協賛 KDDI 株式会社）が10年目を迎え、ゲストに東日本大震災後被災地で多くの復興支援活動を展開してきた歌手の加藤登紀子を迎え節目のコンサートに出演しライブ配信も行われました。

年度末の3月27日には、隔年で質の高いコンサートを開催している久慈市より依頼を受け、仙台市内でも新型コロナウイルス感染者が激増する中にもかかわらず、主催者の強い意向で「音楽の贈り物 Vol.5」を久慈市文化会館アンバーホールにて開催することができました。

#### （4）室内楽

令和2年度も仙台市内のみならず、東北各地で広く室内楽活動を行いました。音楽の力による復興センター・東北と連携した被災地での復興コンサートのほか、東北電力スクールコンサート、福島出身の作曲家・古関裕而がNHK連続テレビ小説「エール」のモチーフになったことによる記念の室内楽「古関裕而エール室内合奏団」への出演、仙台防災未来フォーラムへの出演、東日本大震災以降毎年献奏している仙台市・名取市・岩沼市の東日本大震災各追悼式・慰霊祭への室内楽での参加などを行いました。

#### （5）その他

NHK 主催の全国のオーケストラによるベートーヴェンの9つの交響曲をテーマとしたリレー形式の公開収録「オーケストラでつなぐ希望のシンフォニー」が10月15日名取市文化会館で行われ、仙台フィルは常任指揮者飯守泰次郎と共にベートーヴェン交響曲第2番を担当し、11月1日にEテレ「クラシック音楽館」で全国放送され多くの方から反響をいただきました。

また仙台フィルではホームページをリニューアルし、一層の情報発信の拡充を図りました。新たなホームページは、スマートフォンにも対応しており、画面を見やすく自動調整する機能を備えています。

### 3. 青少年の音楽鑑賞及び演奏等に関する指導及びその普及

#### （1）青少年のためのオーケストラ鑑賞会

仙台市が主催する小学5年生と中学1年生を対象とする「青少年のためのオーケストラ鑑賞会」は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。その代替公演として、仙台市内の公立小学校を対象に室内楽による学校訪問ミニ

コンサートを開催し、16校を訪問しました。

## **(2) 次代を担う子どもたちの文化芸術体験事業**

全国各地の小中学校を訪問する文化庁主催「文化芸術による子供育成総合事業」(10校17公演、他に収録1公演)に加え、補正予算事業である「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」(13校21公演)により、青森県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、埼玉県、東京都の小中学校を訪問して公演を行いました。令和2年度はサクスのソリストにテレビ出演等でも有名で日本人サクソ奏者では最高峰のソリスト、上野耕平や齊藤健太を起用し、子供たちの興味を惹き付けオーケストラ音楽の普及につとめました。

## **(3) 岩手県久慈市での吹奏楽クリニックについて**

3月26日、岩手県久慈市で開催した音楽の贈り物V o 1. 5演奏会前に、久慈市の中高学生に対し吹奏楽クリニックを開催し、子供たちの技術向上に貢献しました。

## **4. その他目的達成のために必要な事業**

### **(1) 演奏に必要な調査、研究**

日本オーケストラ連盟加盟のオーケストラをはじめ、文化庁、日本芸術文化振興会、アフィニス文化財団、日本クラシック事業協会との積極的な情報共有・連携を通じて、当団の運営や新型コロナウイルス感染症対策、リモートやオンラインでの音楽配信について多くの知識や技術を獲得しました。

リモート会議が定着したことにより、毎年開催しているステージマネージャー会議はコロナ禍において開催が危ぶまれましたが、オンラインで開催されました。しかしながら、ライブラリアン会議はその性質上オンラインでの開催は難しく中止となりました。

### **(2) 仙台フィルと第九をうたう合唱団**

新型コロナウイルス蔓延の状況下において、合唱団は練習を再開できず、令和2年度の活動はありませんでした。

### **(3) 仙台ジュニアオーケストラの指導**

新型コロナウイルス感染症対策として、ガイドラインに沿うと、ジュニアオーケストラのような人数規模でのオーケストラを編成することが不可能だったため、10月25日の定期演奏会はステージ上の人数を制限し、室内オーケストラで編成しました。オーケストラとしての演奏会にはならなかったものの、舞台上での発表の機会は損なうことなく開催されました。

3月28日開催予定だったスプリングコンサートは、宮城県内で新型コロナウイルス感染者が激増したことを受け、自治体より「まん延防止等重点措置」が発令され、仙台市所有の施設が閉鎖されたため公演中止となりました。この公演中止を受け、5月23日に曲目・指揮者を変更することなく仙台サンプラザホールにて父兄を招待し発表会を開催しました。

なお、平成28年度より仙台ジュニアオーケストラの音楽監督を務めた平川範幸氏は、この3月末を以って退任しました。

#### (4) ラジオ放送とソーシャル・メディアの活用

毎月第1日曜夜に放送中のエフエム仙台「仙台フィル Wave Symphony」は、楽団員2名によるデュオのスタジオ生演奏を継続し、引き続き好評を得ています。TBC 東北放送ではコンサートマスタ西本幸弘（8月～11月担当）、チェロソロ首席奏者三宅進（12月～3月担当）、オーボエ首席奏者西沢澄博（4月～7月担当）がナビゲーターを務めながら継続中です。また仙台フィルではこれらの放送媒体に加え、公式ホームページ、公式 Twitter、公式 Facebook などの SNS による情報発信を積極的に行っています。令和2年度は、新型コロナウイルス蔓延状況下において、公式 YouTube チャンネルの強化に努め、「音楽で振り返る懐かしの仙台フィル」と題し、歴代指揮者の音源を楽団員のコメント付きで編集し計8回配信しました。また先述のエフエム仙台 Wave Symphony のアーカイブ配信にも取り組みました。

2月28日開催の「山田和樹×仙台フィル Vol.7 ノスタルジア」集客のため、11月6日に来日した指揮者の山田和樹とともに急遽収録を行い、日本のプロの楽団では初めての試みとなるリハーサル風景の動画を収録。宣伝番組を制作し公式 YouTube チャンネルで配信し、ノスタルジア公演の集客に大きな影響を与えました。

【参考資料】

(1) 定期演奏会 (13 公演) うち 4 公演中止

・第 336 回～339 回 (金・土 2 回公演)

会場：日立システムズホール仙台・コンサートホール

開演：金曜日午後 7 時 (7.24(金)のみ午後 3 時)・土曜日午後 3 時

・第 340 回～344 回 (土 1 回公演)

会場：仙台銀行ホール イズミティ 21・大ホール 開演：土曜日午後 3 時

回	開催日	出演者	演奏曲目
336 【中止】	5.15(金) 16(土)	指揮：飯守泰次郎 チェロ：ウヰン・シ・ヤン	ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調 ベートーヴェン：交響曲第 7 番 イ長調
337 【中止】	6.5(金) 6(土)	指揮・ピアノ：野平一郎 ヴァイオリン：神谷未穂 チェロ：三宅進 フルート：戸田敦 クラリネット：ダビッド・ヤジンスキー ホルン：須田一之	ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 4 番 ト長調 野平一郎：静岡トリロジーⅡ「終わりなき旅」(2019.3/24 初演) モーツァルト：交響曲第 38 番 ニ長調 K.504 「プラハ」
338	7.24(金祝) 25(土)	指揮：高関健 ピアノ：津田裕也  ※指揮者変更	ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 5 番 変ホ長調「皇帝」 ドヴォルザーク：交響曲第 9 番 ホ短調 op.95 「新世界より」  ※曲目変更
339	9.18(金) 19(土)	指揮：飯守泰次郎 ピアノ：野平一郎  ※ソリスト変更	ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 4 番 ト長調 op.58 ベートーヴェン：交響曲第 7 番 イ長調 op.92  ※曲目変更
340	10.10(土)	指揮：高関健 ヴァイオリン：友滝真由 (第 7 回仙台国際音楽コンクール第 3 位)	バルトーク：ヴァイオリン協奏曲第 2 番 Sz112 ショスタコーヴィチ：バレエ組曲第 1 番 ショスタコーヴィチ：交響曲第 1 番 ヘ短調 op.10  ※曲目変更
341	11.14(土)	指揮：梅田俊明 ヴァイオリン：竹澤恭子  ※指揮者、ソリスト変更	メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 シベリウス：交響曲第 1 番 ホ短調 op.39  ※曲目変更
342	2021 年 1.23(土)	指揮：鈴木優人 ピアノ：牛田智大	武満徹：夢の時 ショパン：ピアノ協奏曲第 1 番 ホ短調 ラヴェル：バレエ音楽「マ・メール・ロワ」 ラヴェル：「ダフニスとクロエ」組曲第 2 番
343	2.13(土)	指揮：飯守泰次郎	武満徹：弦楽のためのレクイエム ベートーヴェン：交響曲第 1 番 ハ長調 チャイコフスキー：交響曲第 6 番 口短調「悲愴」
344	3.20(土)	指揮：尾高忠明 語り：高平響	武満徹：系図 - 若い人たちのための音楽詩 エルガー：交響曲第 1 番 変イ長調



(2) 特別演奏会 (11 公演) うち 5 公演中止

	開催日	出演者	演奏曲目
オーケストラと遊 んじゃおう  【中止】	4.5(日) 2回	指揮：岩村 力 ゲスト：TARAKO	スーザ：星条旗よ永遠なれ チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」 他 ※開演前に楽器博物館を開催。
名曲コレクション  【中止】	4.29(水 祝)	ヴァイオリン独奏： ライナー・キュッヒル	モーツァルト：ヴァイオリンと管弦楽のためのロンド ハ長調 K.373 ベートーヴェン： ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス第1番ト長調 ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス第2番ハ長調 ヴァイオリン協奏曲 二長調
「日本のオーケス トラ音楽」展  【中止】	5.23(土)	指揮：高関健 合唱：NHK 仙台少年少 女合唱隊	武満徹：鳥は星形の庭に降りる 間宮芳生：合唱とオーケストラのためのコンポジショ ン第4番 児童合唱のためのコンポジション - 子供の領分 三善晃：交響三章
東北 UNITED 山形交響楽団× 仙台フィル	7.18(土)	指揮：飯森範親 共演：山形交響楽団	ブルックナー：交響曲第8番
マイタウン コンサート in 岩沼	8.23(日)	指揮：松本宗利音 ピアノ：小井戸文哉 (第87回日本音楽コンク ール第1位)	ウェーバー：序曲「魔弾の射手」 グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調 ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」
もりのみやこの ふれあい コンサート  【中止】	12.4(金)	指揮：佐々木新平	J.ウィリアムズ：「スター・ウォーズ」組曲より“メイ ンタイトル” チャイコフスキー：組曲「くるみ割り人形」より“花 のワルツ ほか
特別演奏会 「レガシー」  ※第九演奏会から 企画変更	12.19(土)	指揮：飯守泰次郎 ヴァイオリン：郷古廉	ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61 ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージン ガー」第1幕への前奏曲 ワーグナー：歌劇「タンホイザー」序曲
名曲コレクション	2021年 1.10(日) 福島 1.11(月) いわき	指揮：太田弦 (第17回東京国際音楽コ ンクール＜指揮＞第2位)	J.シュトラウスⅡ世：ワルツ「南国のバラ」 リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」 ほか
山田和樹×仙台フ ィル vol.7	2021年 2.28(日)	指揮：山田和樹 ピアノ：萩原麻未	ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 チャイコフスキー：交響曲第4番

(3) 依頼演奏会 (開催 60 公演) ※公演中止 41 公演

主 催 者	公 演 数	備 考
[ 公演数 ]		
文化庁 (文化芸術による子供の育成総合事業) (子供のための文化芸術体験機会の創出事業)	39 公演	
仙台市教育委員会等 (青少年のためのオーケストラ鑑賞会)	0 公演	代替公演として室内楽 による学校訪問ミニコ ンサートを実施予定
仙 台 市 (含む関係団体)	2 公演	市制施行、クラシックエル
宮 城 県 (県民ロビーコンサート・地方音楽会)	4 公演	
藤 崎 (ニューイヤークンサート)	1 公演	
一 般 依 頼 各種コンサート	14 公演	
依頼公演合計	60 公演	

依頼演奏会（開催 60 公演）

開催日	演奏会名	出演者	主催者等
7. 12 (日)	山形交響楽団合同演奏会 (やまぎん県民ホール)	指揮：飯森範親	主催：山形交響楽団
8. 1 (土)	オーケストラとあそぼう！ (白川文化交流館コミネス)	指揮：横山奏	主催：白川文化交流館コミネス
8. 10 (月)	文化芸術による子供育成総合事業 (収録：日立システムズホール仙台)	指揮：大井剛史 サクソ：上野耕平	主催：文化庁
8. 30 (日)	エンジョイ！クラシック (日立システムズホール仙台)	指揮：角田鋼亮	主催：日立システムズ
9. 22 (火)	野草園萩まつりコンサート (仙台市野草園)	指揮：佐々木新平	主催：仙台市野草園
10. 4 (日)	仙台クラシックエール (仙台銀行ホールイズミティ 21)	指揮：渡邊一正 ピアノ：上原彩子 ヴァイオリン：大江馨、川久保賜紀	主催：仙台市 仙台市民文化事業団
10. 14 (水)	県民ロビーコンサート (宮城県庁ロビー)	指揮：佐々木新平	主催：宮城県
10. 15 (木)	NHK 公開収録「希望のシンフォニー」	指揮：飯守泰次郎 ヴァイオリン：北田千尋	主催：NHK プロモーション
10. 20 (火) 10. 21 (水) 10. 22 (木) 10. 23 (金) [7 公演]	文化芸術による子供育成総合事業 (栃木県：足利市立第一中学校) (福島県：二本松市立東和中学校) (福島県：福島市立大久保小学校) (福島県：会津若松市立城南小学校)	指揮：大井剛史 サクソ：上野耕平	主催：文化庁
10. 30 (金) [2 公演]	子供のための文化芸術体験機会の創出事業 (山形県：酒田市立第六中学校)	指揮：平川範幸	主催：文化庁
11. 4 (水) 11. 5 (木) [3 公演]	子供のための文化芸術体験機会の創出事業 (宮城県：白石市立福岡小学校) (宮城県：大崎市立田尻小学校)	指揮：平川範幸	主催：文化庁
11. 17 (火) 11. 18 (水) 11. 19 (木) 11. 20 (金) [6 公演]	文化芸術による子供育成総合事業 (栃木県：宇都宮短期大学附属中学校) (埼玉県：加須市立大和根東小学校) (埼玉県：宮代町立百間小学校) (栃木県：佐野市立赤見小学校)	指揮：松井慶太 サクソ：上野耕平	主催：文化庁
12. 1 (月) 12. 2 (火) [2 公演]	子供のための文化芸術体験機会の創出事業 (宮城県：仙台市立黒松小学校) (青森県：平川市立碓ヶ関中学校)	指揮：松井慶太	主催：文化庁
12. 8 (火)	仙台市市制施行記念演奏会 (イズミティ 21 大ホール)	指揮：松元宏康	主催：仙台市
12. 13 (日)	宮城県地方音楽会 (大和町ふれあい文化創造センター)	指揮：松元宏康	主催：宮城県・大和町

開催日	演奏会名	出演者	主催者等
12. 14 (月)	子供のための文化芸術体験機会の創出事業 (福島県：相馬市立中村第一中学校) (公演会場は相馬市民会館)	指揮：平川範幸	主催：文化庁
12. 21 (月) [2公演]	文化芸術による子供育成総合事業 (栃木県：宇都宮市立西が岡小学校)	指揮：大井剛史 サククス：齋藤健太	主催：文化庁
12. 22 (火)	子供のための文化芸術体験機会の創出事業 (宮城県：宮城教育大学附属特別支援学校)	指揮：松井慶太	主催：文化庁
12. 25 (金)	仙台フィルのクリスマスコンサート (太白区文化センター楽楽楽ホール)	指揮：鈴木織衛	主催：仙台市 仙台市市民文化事業団
令和3年 1. 6 (木)	藤崎ニューイヤークンサート 2020 (電力ホール)	指揮：太田弦 オーボエ：西沢澄博	主催：藤崎
1. 14 (木) [2公演]	文化芸術による子供育成総合事業 (埼玉県：加須市立記載中学校)	指揮：大井剛史 サククス：齋藤健太	主催：文化庁
1. 30 (土)	新進演奏家育成プロジェクト／オーケストラ (イズミティ 21 大ホール)	指揮：鈴木織衛 マリンバ：船山花菜 ピアノ：八巻梓 ピアノ：庄子三未 ヴァイオリン：米岡結姫	主催：文化庁 日本演奏連盟
2. 3 (水) 2. 4 (木) 2. 5 (金) [6公演]	子供のための文化芸術体験機会の創出事業 (埼玉県：加須市立大和根中学校) (埼玉県：熊谷市立玉井小学校) (埼玉県：本庄市立藤田小学校)	指揮：松井慶太	主催：文化庁
2. 6 (土) 2. 7 (日)	宮城県地方音楽会 (七ヶ浜国際村ホール) (気仙沼市民会館)	指揮：松元宏康	主催：宮城県 七ヶ浜町 気仙沼市
2. 24 (水) 2. 25 (木) 2. 26 (金) [6公演]	子供のための文化芸術体験機会の創出事業 (東京都：江戸川区立西小岩小学校) (東京都：清瀬市東星学園中学校) (東京都：小平市立小平第三小学校)	指揮：平川範幸	主催：文化庁
3. 2 (火) 3. 3 (水) 3. 4 (木) [5公演]	宮城生協こ〜ぶ文化鑑賞会 (イズミティ 21 大ホール)	指揮：松元宏康 ゲスト：山田姉妹	主催：宮城生協
3. 7 (日)	みんなで作る復興コンサート (名取市文化会館)	指揮：岩村力 ヴォーカル：加藤登紀子	主催：TBS 東北放送 河北新報社
3. 27 (土)	音楽の贈り物 Vol. 5 (久慈市文化会館アンバーホール)	指揮：永峰高志 チェロ：ドミトリー・フェイス ヴァイオリン：山根一仁 ピアノ：岡田奏	主催：岩手県久慈市